

シンシア・エンロー『バナナ・ビーチ・軍事基地』

★ 本書で言及された文献のうち、邦訳があるものをリストアップいたしました。

## 第一章 ジェンダーが世界を動かす

注 20 ジョニー・シーガー著、中澤高志、大城直樹、荒又美陽、中川秀一、三浦尚子訳『女性の世界地図——女たちの経験・現在地・これから』明石書店、2020 年。(原注には 2009 年版があげられているが、邦訳は 2018 年版の訳)

## 第二章 レディ・トラベラー、美人コンテスト優勝者、スチュワーデス、 そして客室係のメイド

### 注 10

ナイジェル・ニコルソン著、栗原知代、八木谷涼子訳『ある結婚の肖像——ヴィタ・サックヴィル=ウェストの告白』平凡社、1992 年。

### 注 44

クリスティン・R・ヤノ著、久美薰訳『パン・アメリカン航空と日系二世スチュワーデス』原書房、2013 年。

### 注 46

ヴィクトリア・ヴァントック著、浜本隆三、藤原崇訳『ジェット・セックス——スチュワーデスの歴史とアメリカ的「女性らしさ」の形成』明石書店、2018 年。

## 第三章 ナショナリズムと男性性

### 注 6

シルヴィア・ヴァン・カーク著、木村和男、田中俊弘訳『優しい絆——北米毛皮交易社会の女性史 1670-1870 年』麗澤大学出版会、2014 年。

### 注 8

伊藤るり「1920~30 年代沖縄における「モダンガール」という問い——植民地的近代と女性のモビリティをめぐって」お茶の水女子大学ジェンダー研究センター『ジェンダー研究』

9、2006年、1-18頁。(原注にあげられている英文原稿を下地としており、後に「女の移動と植民地的近代——沖縄のモダンガール現象への接近」として伊藤るり、坂元ひろ子、タニ・E・バーロウ編『モダンガールと植民地的近代——東アジアにおける帝国・資本・ジェンダー』岩波書店、2010年に所収)

#### 注 17

マーガレット・シュトローベル著、井野瀬久美恵訳『女たちは帝国を破壊したのか——ヨーロッパ女性とイギリス植民地』知泉書館、2003年。

#### 注 40

クマリー・ジャヤワルダネ著、中村平治監修『近代アジアのフェミニズムとナショナリズム』新水社、2006年。

### 第四章 基地の女性たち

#### 注 3

チャルマーズ・ジョンソン著、村上和久訳『アメリカ帝国の悲劇』文藝春秋、2004年。  
チャルマーズ・ジョンソン著、鈴木主税訳『アメリカ帝国への報復』集英社、2000年。

#### 注 4

キース・L・カマチヨ著、西村明、町泰樹訳『戦禍を記念する——グアム・サイパンの歴史と記憶』岩波書店、2016年。

#### 注 31

シンシア・エンロー著、上野千鶴子監訳、佐藤文香訳『策略——女性を軍事化する国際政治』岩波書店、2006年。

#### 注 37

エンロー『策略』。

#### 注 38

エンロー『策略』。

#### 注 41

サビーネ・フリューシュトゥック著、花田知恵訳『不安な兵士たち——ニッポン自衛隊研究』

原書房、2008年。

注 51

ジュディス・R・ウォーコウイツ著、永富友海訳『壳春とヴィクトリア朝社会——女性、階級、国家』上智大学出版、2009年。

注 56

エンロー『策略』。

注 60

メアリー・ルイーズ・ロバーツ著、佐藤文香監訳、西川美樹訳『兵士とセックス——第二次世界大戦下のフランスで米兵は何をしたのか?』明石書店、2015年。

注 62

エンロー『策略』。

注 64

アジア女性資料センター『女たちの21世紀』(特集 沖縄——女性の視点から植民地主義・軍事支配を問う) 2012年9月、No.71。

注 71

アリス・クック、グウィン・カーク著、近藤和子訳『グリーナムの女たち——核のない世界をめざして』八月書館、1984年。

ジル・リディントン著、白石瑞子、清水洋子訳『魔女とミサイル——イギリス女性平和運動史』新評論、1996年。

## 第五章 外交的な妻と外交的ではない妻

注 7

カーク『優しい絆』。

## 第六章 バナナに夢中！

注 7 ニール・ギャブラー著、竹村健一訳『ユダヤの帝国』(上巻・下巻) 竹書房、1990年。

注 10

エドワルド・ガレアーノ著、飯島みどり訳『火の記憶 3 風の世紀』みすず書房、2011年。

#### 注 21

ジャクリーン・ジョーンズ著、風呂本惇子、高見恭子、寺山佳代子訳『愛と哀——アメリカ黒人女性労働史』學藝書林、1997年。

ロナルド・タカキ著、富田虎男、白井洋子訳『パウ・ハナ——ハワイ移民の社会史』刀水書房、1986年。

アン・ローラ・ストーラー著、中島成久訳『プランテーションの社会史——デリ／1870-1979』法政大学出版局、2007年。(原注には1985年版があげられているが、邦訳は1995年版の訳)

### 第七章 女性の労働は決して安くはない

#### 注 41

シーガー『女性の世界地図』。(原注には2009年版があげられているが、邦訳は2018年版の訳)

#### 注 43

ソニア・ソトマイヨール著、長井篤司訳『私が愛する世界』亜紀書房、2018年。

#### 注 56

アニタ・チャン他著、小林弘二監訳『チェン村——中国農村の文革と近代化』筑摩書房、1989年。(原注には2009年版があげられているが、邦訳は1984年版の訳)

#### 注 59

欣然著、上田クミ訳『チャイナ・フラワー——大地に生きる女たち』集英社、2004年。

レスリー・T・チャン著、栗原泉訳『現代中国女工哀史』白水社、2010年。

### 第八章 グローバル化されたバスタブをごしごし洗う

#### 注 6

ラセル・S・パレニヤス著、小ヶ谷千穂訳「グローバリゼーションの使用人(サーバント)——ケア労働の国際的移動」『現代思想』30(7)、青土社、2002年、158-181頁。(The International Division of Reproductive Labor, Servants of Globalization: Different Settings, Parallel Lives in *Servants of Globalization: Women, Migration and Domestic Work.*)

注 35

バーバラ・エーレンライク著、曾田和子訳『ニッケル・アンド・ダイムド——アメリカ下流社会の現実』東洋経済新報社、2006 年。

(作成 望戸愛果)